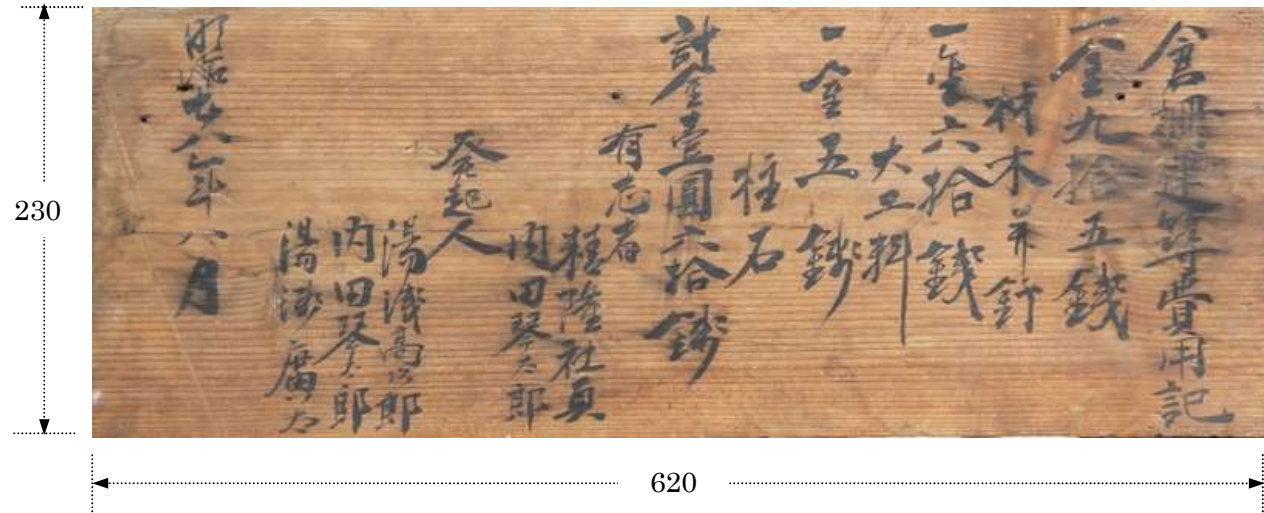


倉柵建築費用記（掛札一覧表④）

明治28年 8月

「倉柵」が何なのか分からないが、察するに明治十四年に築造した土蔵の裏（西）岸を、山瀬による浸食から防護するための柵（しがらみ。当地ではしがらと慣用）（竹や丸太を組んで、川岸などの崩落を防ぐ構造物）を作ったときの決算報告ではなかろうか。

これも例にたがわず、告知・広報板だったことは、釘穴跡からしても明白だ。



倉柵建築費用記	
一金九拾五錢	材木并釘
一金六拾錢	大工料
一金五錢	柱石
計金壹圓六拾錢	
有志者	精隆社員
發起人	内田琴太郎
	湯浅高次郎
	内田琴太郎
	湯浅廣太
明治廿八年八月	

并 は「並びに」の意

やや小ぶりだが、これも掛け札に相違ない。

